

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は2009年度(財)日本陸上競技連盟競技規則及び、本大会申し合わせ事項による。

2 練習会場及び練習について

(1) 大会前日(10/2)の練習は、係員の指示により下記のとおり行うこととする。

練習会場	練習時間帯	練習種目
陸上競技場 (メイン)	10:00 ~ 15:00	・トラック競技及びやり投げ以外のフィールド競技の練習とする。スターティングブロックは指定レーンで使用可能。また、フィールド内芝生上はいかなる使用も不可。
補助競技場 (サブ)	10:00 ~ 15:00	・トラック競技及びやり投げとする。スターティングブロックは指定レーンで使用可。フィールド内芝生上でのウォーミングアップは不可。

(2) 大会前日(10/2)の各練習会場における練習種目について

陸上競技場(メイン)は、トラック競技及びやり投げ以外のフィールド競技の練習とする。スターティングブロックを使った練習は指定された場所・レーンで使用を認める。走幅跳及び三段跳びについてはメインスタンド側跳躍ピットを、走高跳については、第2曲走路内側で練習を行うこと。また、フィールド内芝生上での練習は認めない。

補助競技場(サブ)は、トラック競技及びやり投げの練習とする。スターティングブロックは指定された場所・レーンで使用を認める。投てき競技はトラック内フィールド芝生上各指定場所で練習を行うものとする。また、フィールド内芝生上は投てき練習と重なるためウォーミングアップ等の使用は不可とする。

(3) 大会当日(10/3・10/4)の練習は、係員の指示により下記のとおり行うこととする。

練習会場	練習時間帯	練習種目
陸上競技場 (メイン)	3日 7:30 ~ 9:00 4日 7:30 ~ 8:30	・トラック競技及び跳躍競技の練習とする。スターティングブロックは指定レーンで使用可能。また、フィールド内芝生上はいかなる使用も不可。
補助競技場 (サブ)	3日 7:30 ~ 15:00 4日 7:30 ~ 13:30	・トラック競技及び跳躍競技の練習とする。スターティングブロックは指定レーンで使用可。フィールド内芝生上でのウォーミングアップは不可。

(4) 大会当日(10/3・10/4)の各練習会場における練習種目について

陸上競技場(メイン)は、トラック競技及び跳躍競技のみとする。スターティングブロックを使った練習は指定された場所・レーンで使用を認める。

補助競技場(サブ)は、トラック競技及び跳躍競技の練習とする。スターティングブロックは指定された場所・レーンで使用を認める。跳躍競技については各指定場所で行うものとする。また、フィールド内芝生上はウォーミングアップ等の使用は不可とする。

大会当日10/3・10/4については、メイン、サブともに投てき競技の練習場所を設定しない。

3 招集について

- (1) 競技者招集所は、第4ゲート側、雨天走路内に設置する。
- (2) 各種目招集開始時刻・完了時刻は、その競技の開始時刻を基準とし次のとおりとする。
なお、予選・準決勝・決勝の全てに適用する。

	招集開始	招集完了
トラック競技	30分前	20分前
フィールド競技	50分前	40分前
手 順	招集所で競技者係による点呼及び胸・背のナンバーカード、腰ナンバー標識(トラック競技)、シューズの確認を受けて待機する。	招集所から係員の誘導により、競技場へ入場する。

(3) 留意事項

出場する競技種目を棄権する場合は、棄権届用紙に記入し、招集開始時刻までに招集所の競技者係に提出する。用紙は大会プログラム内に付帯するとともに、招集所に置く。
招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理をする。
2種目兼ねて出場する競技者で競技時間が重なる場合には、その旨をあらかじめ本人または代理人が2種目同時出場届用紙に記入し、招集所の競技者係に提出する。用紙は大会プログラム内に付帯するとともに、招集所に置く。
リレー競技に出場するチームは、予選・決勝ともオーダー用紙に必要事項を記入の上、招集開始時刻1時間前までに招集所の競技者係に1部提出する。オーダー用紙提出後のメンバー変更については、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認めない。
リレー競技においては、チームの出場者は統一のユニフォーム(色・デザイン)を着用する。
リレー競技のマーカ―は、各校で用意し、終了後撤去する。
予選以降における競技のスタートリストは番組編成終了後掲示する。
一部男子100m、一部男子200mについては競技日程に記載のとおり、招集を2組に分ける。
二部の各競技は、参加人数により予選は行わず、決勝のみとする。

4 競技場への入退場について

競技場への入場は、全て係員の指示誘導による。また、退場は下記のとおりとする。

- (1) トラック競技の競技者の退場は、フィニッシュラインに到着後、第1ゲート(100mフィニッシュ地点付近)から退場する。ただし、4×100mRの1走～3走については、競技の妨げにならないよう注意して、競技場内外周から各スタート地点に戻り、第1・4ゲートから退場する。
- (2) フィールド競技の競技者の退場は、係員の指示誘導に従う。

5 各競技の組み合わせ及び走路順、試技順について

- (1) トラック競技の組み合わせ及び走路順、また、フィールド競技の組み合わせ及び試技順は主催者が公平に抽選をして決定する。
- (2) 予選におけるトラック競技の走路順、また、フィールド競技における試技順は、プログラムの各競技者左側に記載の番号順どおりとする。
- (3) 予選以降の競技組み合わせ及び走路順・試技順は、決定次第招集所及び記録掲示板に発表する。

6 トラック競技の準決勝・決勝に進むプラスアルファの決定について

- (1) 原則として全競技写真判定(1/100秒)の記録順による。
- (2) 予定されたプラスアルファの人数を上回って、(1)で判定できない同記録が出た場合は、セバレーンを使用する種目(800mを含む)では、空きレーンを使用する(9番目のレーン)。それでも収まらない場合は、写真を拡大し1/1000秒単位をもって判定する。
それでも判定できない場合は、本人または代理人によって抽選し決定する。
オープンレーンを使用する種目は、同タイムの競技者は全員次のラウンドに進める。

7 トラック競技について

- (1) トラック及びフィールド内には、その競技を行う競技者並びに役員(審判員及び競技補助員)以外は立ち入ることができない。
- (2) セパレートレーンで行うトラック競技では、競技者は安全確保のためフィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーンを走って終了すること。
- (3) セパレートレーンで行うトラック競技における欠場者のレーンは、そのまま空けておく。
- (4) 競技者の衣類は、指定されたビニール袋に入れる。ビニール袋は大会役員が第1ゲート内側(フィニッシュ地点付近)に設置したテントに運搬する。ただし、4×100mR競技については第4走者のみとする。(学校名・競技者・ナンバーを明記したビニール袋を受付時に配布する)。
- (5) 男子5000m決勝については、一部と二部の同時スタートで実施する。

8 フィールド競技について

- (1) フィールド競技の決勝の内、男子 走高跳と男子 走幅跳においては、一部・二部とも同時に行う。
- (2) フィールド競技における競技場内での練習は、審判員の指示により行うこと。
- (3) 走高跳のバーの上げ方は次を基準とするが、天候等の状況により審判長が判断する。また、マーカーは各校で用意し、終了後撤去する。

区分	練習	競技におけるバーの上げ方
一部・二部男子	130cm	135 - 140 - 145 - 150 - 153 - 156 - 159 - 以降 3cmずつ
	145cm	
	160cm	
一部・二部女子	100cm	105 - 110 - 115 - 120 - 123 - 126 - 129 - 以降 3cmずつ
	120cm	

第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは2cmずつとする。
2つ以上の高さは練習できない。

- (4) 走高跳は、一部・二部とも同一ピットを使用する。
- (5) 走幅跳は、メインスタンド側ピットで行う。
- (6) 三段跳は、メインスタンド側のピットで行う。踏切板から砂場までの距離は、8m, 9m, 11mとする。競技者は招集時に、競技審判員にどちらのピットを使用するかを申告する。ただし、競技開始前の練習時であればピットの変更は可能とする。競技開始後のピットの変更は認めない。
- (7) 競技用具は、主催者が用意したものをを使用すること。
- (8) 走幅跳・三段跳及びやり投競技に参加する競技者は、助走路の外側に主催者の用意したマーカーを2個まで置くことができる。

9 競技用シューズについて

スパイクシューズは全天候型のピンを使用。本数は11本以内とし、長さは9mm以下とする。ただし、走高跳とやり投競技においては、長さを12mm以下とする。形状は2段平行ピン・平行柱ピンとする。(スクリュピン等形状に変化のあるものは不可)

10 ナンバーカード及び腰ナンバー標識について

- (1) ナンバーカードは、本大会主催者が準備して受付時に配布する。
- (2) ナンバーカードは、一部・二部共に白地で、男子黒字・女子赤字で2枚配布する。配布されたナンバーカードはユニフォームの胸部と背部に付ける。
- (3) 走高跳に出場する競技者は、ユニフォーム胸部または背部だけでもよい。
- (4) 腰ナンバー標識は、トラック競技に出場する選手が使用する。競技者招集場所で競技者係から配布されるので、その場でランニングパンツの右側やや後方に安全ピンで留める。
腰ナンバー標識はフィニッシュ地点で回収する。

11 助力について

当該競技を行う競技者以外はトラック・フィールド内に入らない。また、競技に出場する競技者は、携帯電話等通信機器を競技場内に持ち込むことはできない。

12 抗議について

- (1) 競技の結果また行為に関する抗議は、その競技の結果の正式発表後30分以内に、また、次のラウンドが行われる種目では、結果の正式発表後15分以内に各校監督から大会総務を通じ審判長に対して申し出る。
- (2) 上訴審判員に上告する場合は、審判長によってなされた決定の公式発表から30分以内に、文書と預託金10,000円を添えなければならない。この預託金は抗議の結果を問わず、いかなる場合も没収される。

13 入賞及び得点について

- (1) 各種目とも決勝の8位までを入賞とし、1位8点、2位7点、……8位1点とする。
- (2) 総合得点が同点の場合は、上位入賞者競技種目の多い方を上位とする。
- (3) 二部競技参加種目は得点の対象としない。

14 表彰について

- (1) 一部の各種目において1位～3位の入賞者には賞状とメダル、4位～8位の入賞者には賞状を授与する。なお、二部においては、各種目1位～3位の入賞者に賞状とメダルを授与する。
- (2) 各種目の表彰は、結果発表後速やかに行うので、決勝終了後、係員の指示により表彰者控所に移動する。1位～8位の全ての入賞した選手が表彰を受ける。
- (3) 出場種目の兼ね合いで本人が表彰に出席できない場合は、必ず代理人が出席する。
- (4) リレー競技の表彰には4人が出席する。
- (5) 閉会式時の表彰は次のとおりとする。

男子	総合優勝	賞状・優勝旗・優勝カップ
	総合準優勝	賞状・準優勝カップ
	3位～6位	賞状

女子	総合優勝	賞状・優勝旗・優勝カップ
	総合準優勝	賞状・準優勝カップ
	3位～6位	賞状

15 その他

- (1) 特別表彰は閉会式で行う。
- (2) 学校対抗の得点及び記録の発表は、メインスタンド2階通路に掲示する。
- (3) 救急・救護に関する処置は、原則としてメインスタンド下の医務室で行う。
- (4) 競技者の更衣は、メインスタンド下の男女各更衣室を利用する。なお、更衣室に荷物を置いたままにしないこと。
- (5) 置き引き、盗難等の発生する恐れがあるので、衣類や自校物品、貴重品の管理については各校で責任をもって管理すること。置き引き、盗難等が発生しても主催者側は一切責任を負わない。
- (6) メインスタンド下の雨天走路場については、招集所に利用するので、ウォーミングアップ場所としては原則利用しない。(招集時の軽いウォーミングアップでの利用はできる)
- (7) 競技場内に横断幕及びのぼり旗等を取り付ける場合は、サイドスタンド及びバックスタンド中段から上のみとし、メインスタンドは全面禁止とする。また、サイドスタンドの100mスタート付近、フィニッシュ地点付近についても禁止とする。